

歴史的建造物「横浜市大倉山記念館」を ドローン等でデジタルアーカイブ化！

横浜市大倉山記念館は、実業家大倉邦彦が心豊かな人材育成のために大倉精神文化研究所の本館として1932年（昭和7年）4月9日に竣工、今年で築94年を迎えます。1991年（平成3年）に横浜市指定有形文化財に指定された歴史的建造物となっています。公益財団法人大倉精神文化研究所（理事長：平井誠二）は建物の記録を長く残していくために建物デジタル診断研究会（代表：内山岳彦）と連携してデジタルアーカイブ化に取り組むことにしました。

横浜市大倉山記念館の設計者は1867年（慶応3年）生まれの長野宇平治、近代建築の父辰野健吾の弟子として、日本銀行の増改築、全国各地の銀行など重厚で格調高い建築を手掛けました。大倉山記念館は、大倉邦彦が考えた東西文化の融合をイメージしたプレ・ヘレニック様式の建物で、大倉山エルム通り商店街にも影響を与えています。構造は鉄骨・鉄筋コンクリート造3階建て、複雑な形状は維持保全するにあたり管理の難しい建物になっています。

建物デジタル診断研究会では、外周部についてはドローンにより高さや撮影角度を変えて撮影して専用ソフトによる三次元モデル化をおこないます。館内については衝突防止機能付きドローンと360度スキャニングカメラを併用して三次元モデル化をおこないます。歴史的建造物をデジタルアーカイブ化して記録すると共に、維持管理のメンテナンスでも活用できるように考えております。デジタルアーカイブ化は2026年1月19日（月）より開始していきます。

既存建築物の調査への活用にご興味のある方はこちらのフォームにてご連絡ください。

<https://forms.gle/qvjWNZJGVfweMQ3A7>



【問い合わせ先】

株式会社エー・エス・ディ
建物デジタル診断研究会 事務局

<https://forms.gle/qvjWNZJGVfweMQ3A7>



関係者概要

横浜市大倉山記念館

URL <https://o-kurayama.com/>

1981年（昭和56年）に大倉精神文化研究所から横浜市に寄贈され、大改修したのち、1984年（昭和59年）から市民利用施設の横浜市大倉山記念館として開館しています。1991年（平成3年）に横浜市指定有形文化財に指定されました。

公益財団法人大倉精神文化研究所 理事長 平井 誠二

URL <https://www.okuraken.or.jp/>

創設者大倉邦彦の「世の為に田を耕す」の精神を引き継ぎ、地域文化の振興に貢献している公益財団法人です。附属図書館は貴重な専門書などを11万冊以上有する私立の公共図書館となっております。「東西両洋における精神文化及び地域における歴史・文化に関する科学的研究及び普及活動を行い、国民の知性及び道義の高揚を図ることにより、心豊かな国民生活の実現に資し、もって日本文化の振興及び世界文化の進展に寄与する」ことを目的にしています。

建物デジタル診断研究会

ドローンや点群システムなどを活用して建物診断及び三次元デジタルモデルを活用した新しい維持管理方法を研究するグループです。一般社団法人横浜市建築士事務所協会の有志を中心に活動をおこなっています。中心的な企業を下記にご紹介します。

株式会社エー・エス・ディ 代表取締役 内山 岳彦

URL <https://www.asd-inc.co.jp/>

建設・建築業界向けにクラウドサービス「目視録」「点検録」「住歴録」などを提供し、現場の課題を“見える化”して解決するITソリューション企業です。社会に役立つ先進的な仕組みで、持続可能な環境づくりに貢献しています。

株式会社ジャスト 代表取締役 角田 賢明

URL <https://www.just-ltd.co.jp/>

建築物、社会インフラなど構造物全般を対象に、ドローン、3D計測、画像解析など多様なデジタル技術を応用した点検・調査を行っています。第三者性を軸に、記録保存と維持管理の高度化に貢献しています。

合同会社INVAPL 代表 三嶋 滋憲

URL <https://invapl.com/>

建築・不動産分野で、設計・施工・維持管理・リスク評価を横断支援する技術系コンサルティング会社です。ドローンや3Dデジタル技術を活用し、建物の声を伝える“介添え”として安全・安心な環境づくりに貢献しています。